

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	技術者倫理
科目基礎情報					
科目番号	0178		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	土木建築工学科		対象学年	5	
開設期	後期		週時間数	1	
教科書/教材	社団法人日本技術士会倫理委員会「技術士の倫理」社団法人日本技術士会				
担当教員	目山 直樹, 河村 志朗				
到達目標					
常に中立公正を堅持し、公益性を確保しながら業務を行う技術者の立場とすべき姿勢を理解できる。					
1. 基礎的倫理能力について学び、知識として理解できる。					
2. 問題発見や問題解決能力を身に付け、レポート課題の中で具体的に解答できる。					
3. 座長として、班のメンバーの意見を聞き、その中から班としての意見や理解をまとめ、座長レポートとしてまとめ、発表することができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1 基礎的倫理能力	技術者倫理の基礎知識、判断能力が高い		技術者倫理の基礎知識、判断能力が通常レベルにある		技術者倫理の既卒式、判断能力が不足している
評価項目2 問題発見・解決能力	オムニバス課題で問題発見・解決に高い能力を持つ		オムニバス課題で問題発見・解決に通常的能力を持つ		問題発見・解決の能力がやや不足している
評価項目3 取りまとめ能力	座長として意見をまとめ、プレゼンする高い能力がある		座長として意見をまとめ、プレゼンする通常的能力を持つ		座長やプレゼンする能力がやや不足している
学科の到達目標項目との関係					
到達目標 A 2 JABEE b					
教育方法等					
概要	技術者は常に専門技術を磨き、資質を向上させ、責任を持って仕事を行わなければならない。また、仕事においては、良心に基づいて常に中立公正を堅持し、公益性の確保に努めなければならない。しかし、具体的にはどのようなすれば良いのかということは非常に分かりづらい。そこで、実務を遂行する際に現実生じた事例をもとに、技術者の立場、とるべき姿勢を討議しながら理解を深めて行く。 この科目は、6つのオムニバス授業を、それぞれの担当分野の実務家が講師となり、自身の経験を踏まえた技術者倫理に関わる事例を講義形式で授業を行うものである。また、各オムニバス授業の講師ならびに本校担当教員は、すべて技術士として登録し、実務経験を有するものである。				
授業の進め方・方法	講義の第1回目に技術者倫理が必要とされる背景について考える。第2回目以降は事例研究として2回1テーマで6例のテーマを扱う。学生は各班6名程度のグループ(班)で構成する。1回目は各テーマごとに講師の説明の後に討議を行う。班員は交代で座長を努め討議を進める。班員は各自討議のまとめを行い会議録を作る。座長はそれを取りまとめて報告書を作成する。2回目は各班の報告書を座長が発表し再び討議を行う。第14回目に模擬試験と解説を行った後に第15回目にまとめを行う。学修内容を確実に身につけるために、予習復習が必須である。事前学習として、教科書を読んでおくこと。事後学習として、各オムニバスに対応した課題レポートを作成し、期限までに取りまとめ教員に提出する。				
注意点	全ての課題レポートを作成し、提出すること。未提出のレポートがある場合は、成績評価を行わない。そのため、公認欠席等で授業を休んだ場合にも、課題を自学自習し、レポートを作成し、提出する必要がある。 成績評価 最初のレポート (10点) + オムニバスの個人レポート6回 (10点×6回, 60点) + 座長レポートと発表 (15点) + 確認試験 (15点) = 100点 ※公認欠席等、授業を欠席した際のレポートの提出期限を目山教員に確認すること。オムニバス授業では、1回目の授業でレポートを課し、2回目の授業で課題の解説をするため、2回目の授業より後に提出したレポートは、評価点を6割未満とするので、注意すること。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション(全員)	技術者の倫理とはなぜ技術者の倫理が問われているか(レポート)	
		2週	建設分野の技術者倫理(1)	建設と品質管理に関する事例(1)	
		3週	建設分野の技術者倫理(2)	建設と品質管理に関する事例(2)	
		4週	下水道分野の技術者倫理(1)	下水処理場建設に関する事例(1)	
		5週	下水道分野の技術者倫理(2)	下水処理場建設に関する事例(2)	
		6週	設計分野の技術者倫理その1(1)	設計と品質管理に関する事例その1(1)	
		7週	設計分野の技術者倫理その1(2)	設計と品質管理に関する事例その1(2)	
		8週	応用地質分野の技術者倫理(1)	地質災害に関する事例(1)	
	4thQ	9週	応用地質分野の技術者倫理(2)	地質災害に関する事例(2)	
		10週	設計分野の技術者倫理その2(1)	設計と品質管理に関する事例その2(1)	
		11週	設計分野の技術者倫理その2(2)	設計と品質管理に関する事例その2(2)	
		12週	上水道分野の技術者倫理(1)	上水道事業と公務員の立場に関する事例(1)	
		13週	上水道分野の技術者倫理(2)	上水道事業と公務員の立場に関する事例(2)	
		14週	技術士(技術者資格)制度の紹介(日本技術士会)	技術士制度の紹介と受験準備について学ぶ。(機械電気工学科の同様の科目と合同で実施する予定。時期は要調整)	
		15週	確認試験(目山)	技術士1次試験レベルの模擬試験と解答	
		16週	まとめ(全員)	成績・授業評価・まとめ	
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	4	
			法令やルールを遵守した行動をとれる。	4	
			他者のおかれている状況に配慮した行動をとれる。	4	

評価割合				
	試験	発表	レポート	合計
総合評価割合	15	10	75	100
基礎的能力	15	0	0	15
専門的能力	0	0	70	70
分野横断的能力	0	10	5	15